

2017年3月期 第1四半期決算概要



日進工具株式会社

2016年7月29日
(証券コード6157)

目次

1. 2017年3月期1Qの業績	P. 2	・・・	第1四半期決算の概要
	P. 3	・・・	営業利益の増減要因
	P. 4	・・・	損益計算書サマリー
	P. 5	・・・	貸借対照表サマリー
	P. 6	・・・	四半期業績推移
2. 2017年3月期の業績予想見通し	P.12	・・・	業績予想見通し
	P.13	・・・	第1四半期における進捗状況
	P.14	・・・	2017年3月期の重点戦略
	P.15	・・・	配当予想
< 参考資料 >	P.16	・・・	過去5年間の業績と 主要データ推移
	P.17	・・・	株価推移とバリュエーション
	P.18	・・・	I R 情報サイトのご案内

第1四半期決算の概要

売上高経常利益率は27.1%と高い水準

(百万円)

	2016年3月期 1Q累計	2017年3月期 1Q累計	上期予想	進捗率
売上高	2,043 (+17.7%)	2,175 (+6.5%)	4,320 (+5.3%)	50.4%
営業利益	461 (+20.2%)	585 (+26.9%)	1,050 (+7.7%)	55.7%
経常利益	490 (+21.0%)	589 (+20.2%)	1,070 (+6.2%)	55.1%
四半期純利益	315 (+23.5%)	376 (+19.3%)	730 (+8.9%)	51.6%

()内は前年同期比増減率

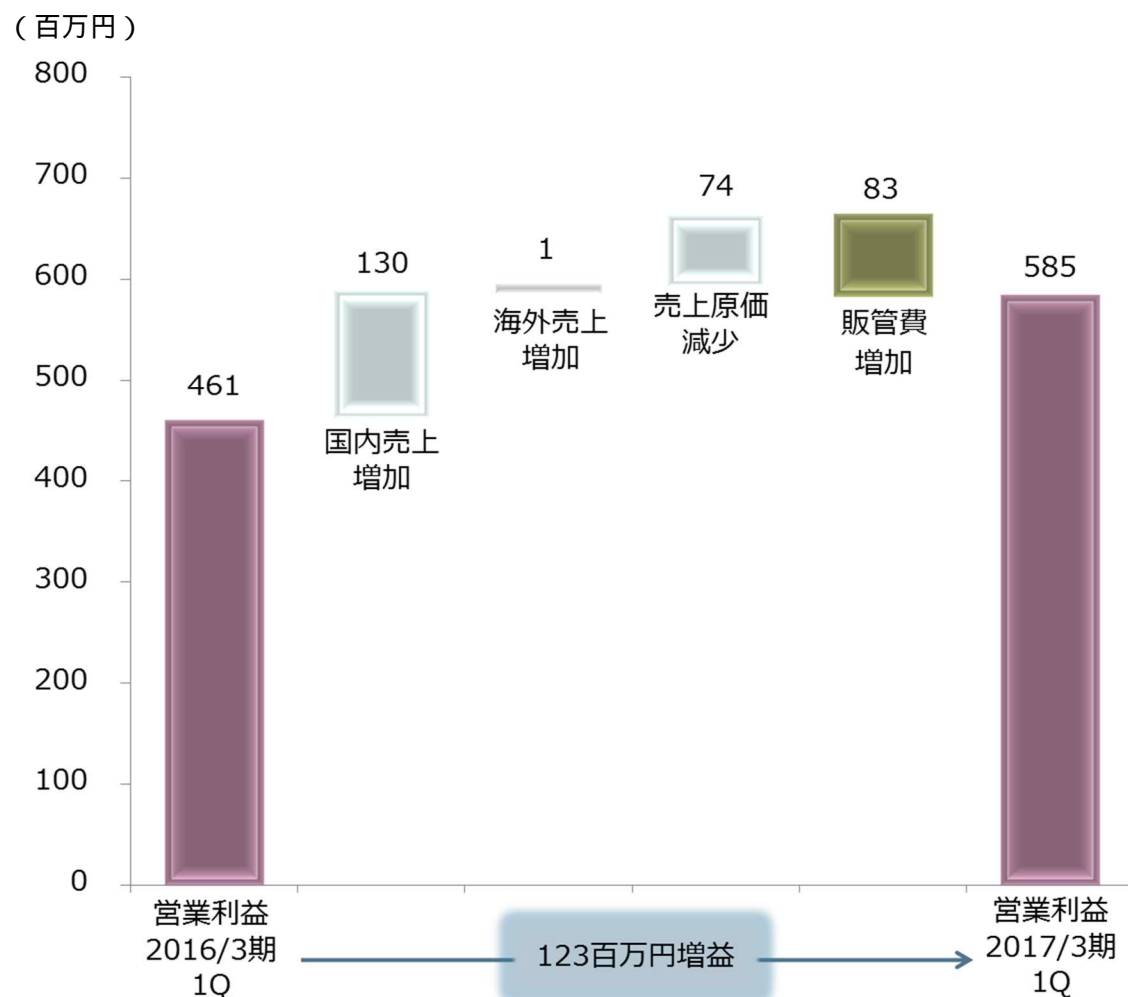
為替市場での円高進行やそれに伴う企業収益の悪化、設備投資の減少等から、工具需要全体としてはやや弱含みとなったものの、スマートフォンのニューモデル向けや自動車関連向けの需要に下支えされ、小径工具市場は比較的順調に推移した。

この結果、連結売上高は前年同期比6.5%増の2,175百万円。上期予算に対する進捗率は、50.4%と計画通りのスタートとなった。

連結経常利益は前年同期比20.2%増の589百万円。上期予算に対する進捗率は55.1%で売上高のそれを上回った。

売上高経常利益率は27.1%となり、前年同期の24.0%から3.1ポイント向上。

営業利益の増減要因



国内売上高は前年同期比130百万円、8.3%アップ、一方海外は同1百万円、0.3%の微増となった。なお売上高全体では132百万円、6.5%の増加であった。(4~6月の中国向けは好調であったが、NS香港経由となるため、連結に当たり3ヶ月のタイムラグがあるため、海外売上全体として0.3%に止まっている。)

132百万円の売上高増加に対して、売上原価は74百万円の減少。前期まで非連結であった子会社が連結処理されたことによる原価の削減効果等による。

営業利益は123百万円、26.9%の増加、売上高営業利益率は4.3ポイント上昇し26.9%となった。

損益計算書サマリー

(百万円)

	2016年3月期 1Q累計	2017年3月期 1Q累計	前年同期比	コメント
売上高	2,043	2,175	+6.5%	円高等から市況環境は冴えなかったが、スマートフォンの新機種向けや自動車関連向けに支えられて順調に推移。
売上総利益 (率)	1,050 (51.4%)	1,257 (57.8%)	+19.7%	子会社の合併に伴い、従来非連結であった子会社が連結処理されたことによる原価の削減効果もあり、売上総利益率は57.8%。
販管費 (率)	589 (28.8%)	672 (30.9%)	+14.2%	営業人員の強化、新工場棟竣工記念、ブランディング施策等から販売管理費が増加。
営業利益 (率)	461 (22.6%)	585 (26.9%)	+26.9%	販売管理費が増加したものの、売上総利益の増加により営業利益は26.9%増加。
経常利益 (率)	490 (24.0%)	589 (27.1%)	+20.2%	前年同期に比べ営業外収益が減少したものの、営業利益の増加により経常利益は同20.2%増加。
四半期純利益 (率)	315 (15.4%)	376 (17.3%)	+19.3%	
設備投資額	249	171	-31.5%	設備導入のタイミングの違いによる。通期では新工場棟建設のあった前期よりも減少予定。
減価償却費	109	145	+32.6%	前期の新工場棟建設や設備の積極導入により、当期の減価償却費は上昇。
従業員数	285人	313人	+9.8%	子会社の合併に伴い、従来非連結であった子会社が連結処理されたことに加え、営業や工場で人員強化のため中途採用を実施。

()は売上高に対する比率

貸借対照表サマリー

(百万円)

	2016年 3月期	構成比	2017年 3月期1Q	構成比	前期比
(資産の部)					
流動資産	6,978	61.4%	6,905	60.9%	-1.0%
現金及び預金	3,898	34.3%	3,774	33.3%	-3.2%
受取手形及び売掛金	1,332	11.7%	1,302	11.5%	-2.3%
棚卸資産	1,467	12.9%	1,455	12.8%	-0.8%
固定資産	4,393	38.6%	4,431	39.1%	+0.9%
有形固定資産	3,893	34.2%	3,950	34.8%	+1.5%
無形固定資産	147	1.3%	140	1.2%	-4.9%
投資その他の資産	353	3.1%	341	3.0%	-3.3%
資産合計	11,371	100.0%	11,337	100.0%	-0.3%
(負債の部)					
流動負債	1,355	11.9%	1,090	9.6%	-19.6%
買掛金	272	2.4%	268	2.4%	-1.5%
固定負債	446	3.9%	448	4.0%	+0.4%
負債合計	1,802	15.8%	1,538	13.6%	-14.6%
(純資産の部)					
純資産合計	9,569	84.2%	9,799	86.4%	+2.4%
負債・純資産合計	11,371	100.0%	11,337	100.0%	-0.3%

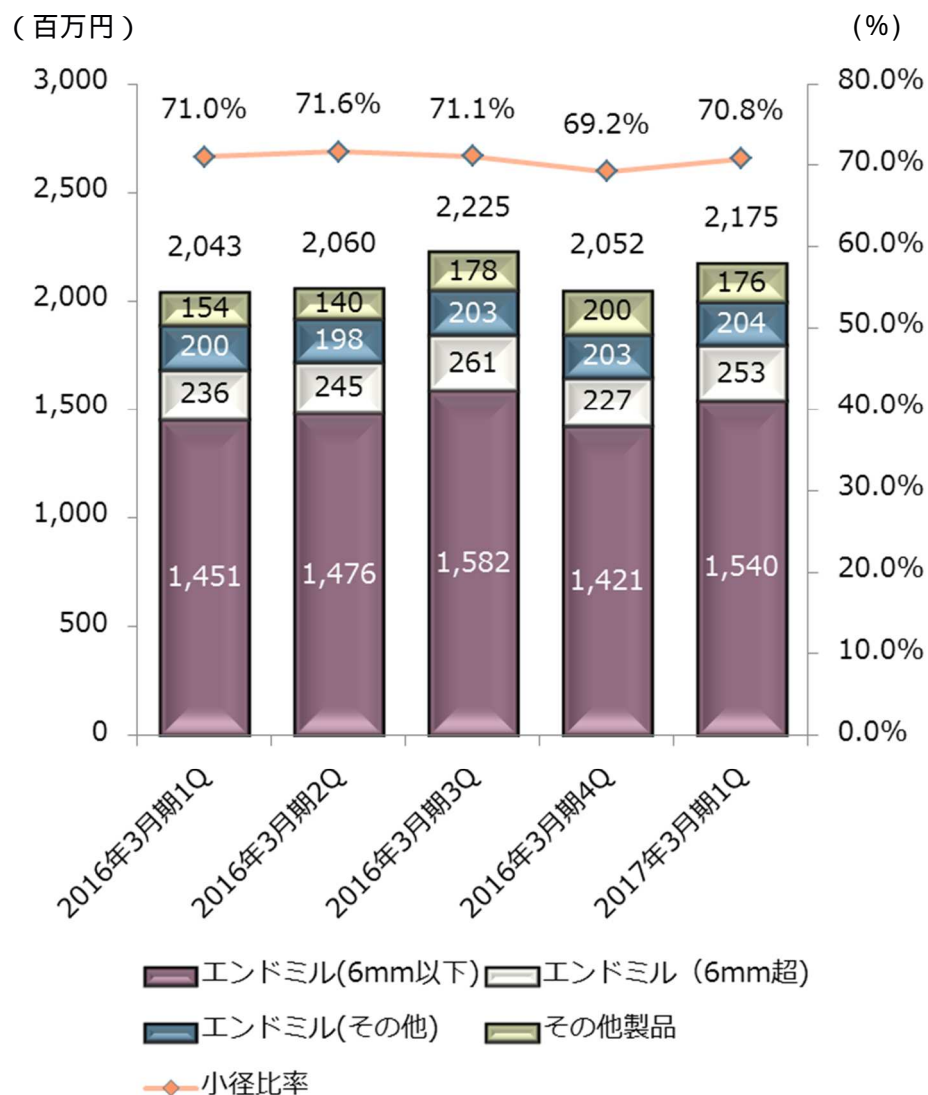
流動資産は、法人税等の支払いにより前期末に比べ現預金が減少したほか、売上債権も6月の売上高が前期末の3月に比べ減少したこともあり、3.2%の減少となった。

法人税等や賞与の支払いにより、未払法人税等、賞与引当金が減少したこと等から、流動負債は大きく減少。

純資産は2.4%増加したが、負債の減少が大きく、負債・純資産合計は0.3%の減少。

売上高の推移 製品別

製品別売上高と小径比率の推移



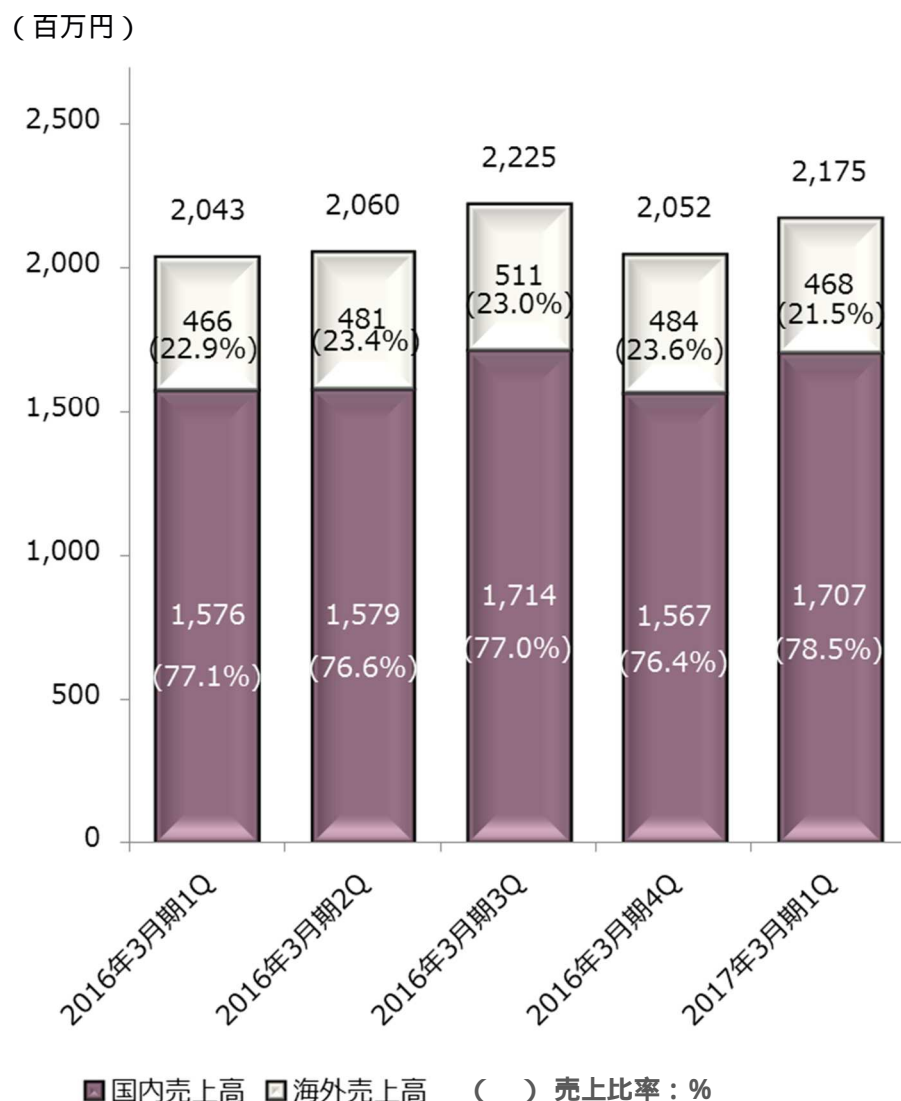
マクロ環境は円高や消費マインドの冷え込み等からやや厳しかったものの、スマートフォンの新機種向けや自動車関連向けに支えられ、前年度第3四半期の水準は下回ったものの、高水準を維持。

製品別では、「その他」が前四半期に比べ若干減少したが、それ以外の製品は前年同期比、前四半期比ともにプラスとなった。

小径比率は70.8%と前四半期からは若干回復したものの、エンドミル(6mm超)、エンドミル(その他)も水準を上げているため、横ばい傾向が続いている。

売上高の推移 国内・海外

国内・海外売上高の推移



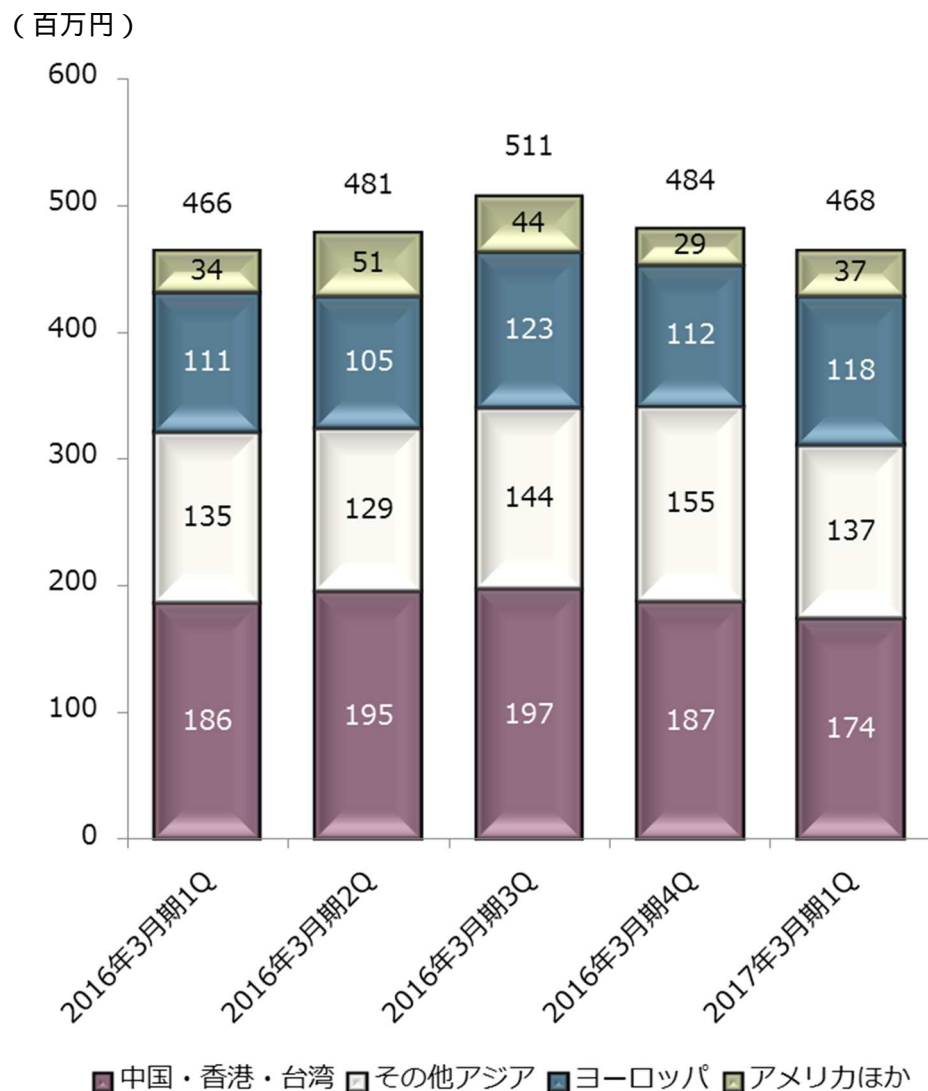
海外売上高は前年同期の水準は維持したものの、前3期に比べて後退。北米や欧州はまずまずの水準であったが、タイを中心とした東南アジアと連結上3ヶ月のタイムラグのある中国を含む部分が減少。

国内は悪い材料が多かったものの、自動車のライト関係や電子部品、コネクタ等では仕事が多く、底堅く推移。四半期ベースでの過去最高に迫る売上高を確保した。

これらにより、海外売上比率は前四半期の23.6%から21.5%へ2.1ポイント低下。

売上高の推移 海外地域別

海外地域別売上高の推移



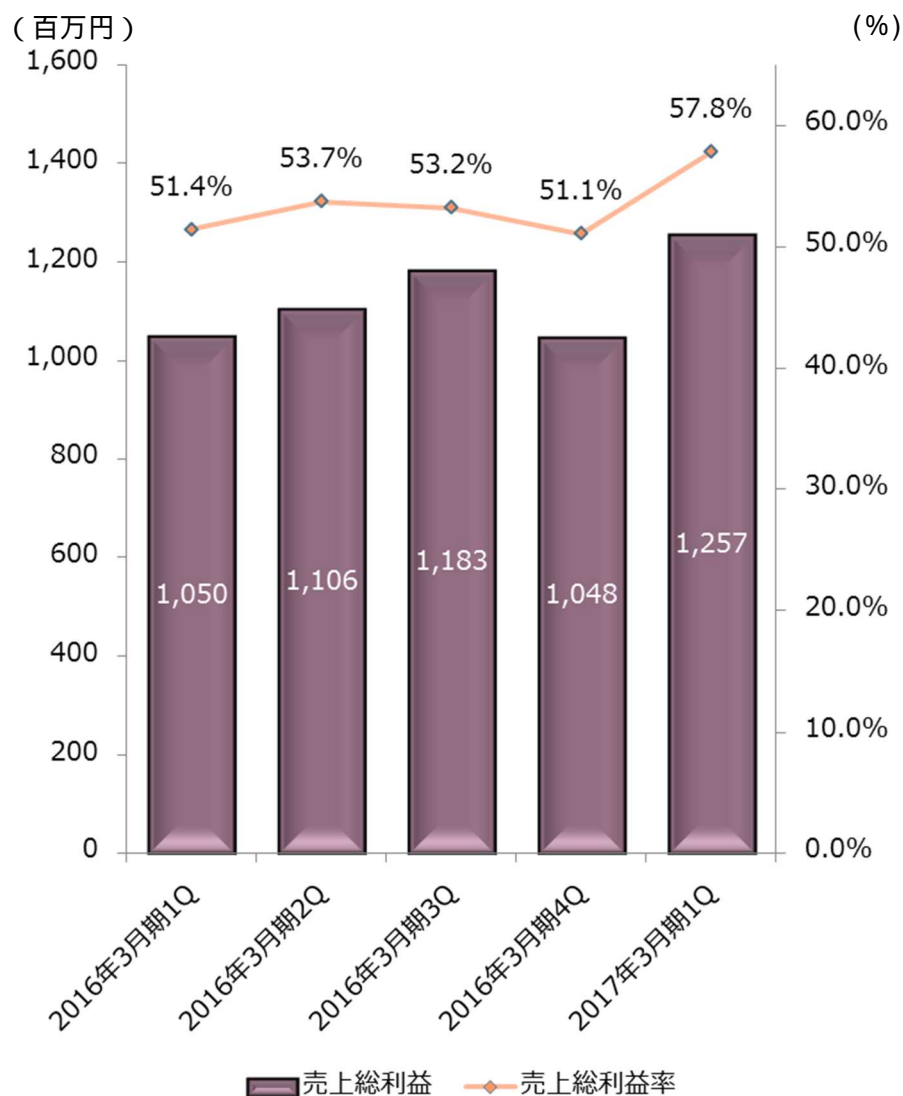
海外では各地域とも順調に伸びてきたが、当四半期は中国や東南アジアで伸び悩んだ。

中国・香港・台湾ではスマートフォン向けのウェイトが大きいが、中国向けの販売を行うNS香港では、連結に当たり3ヶ月のタイムラグが発生するため、連結対象時期（2016年1月～3月）において主力スマートフォンが3割減産となった他、次期モデル向けの動きも無かった影響による。

ヨーロッパは落ち着いた動きが継続、アメリカほかは絶対量が少なく、特定のユーザーの動きに左右される状況。

売上総利益の推移

売上総利益と売上総利益率の推移

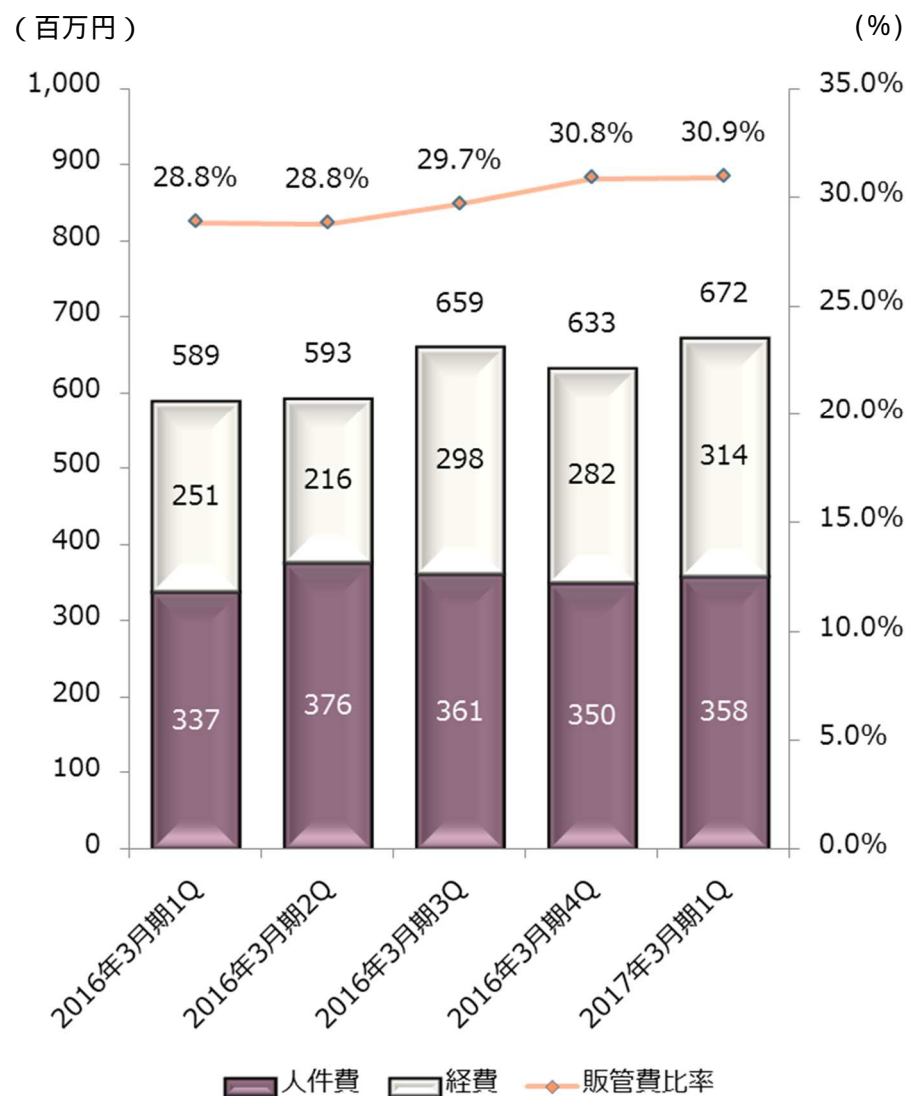


前年同期に比べ生産数量が増加したことから、原材料費が増加。また、連結子会社が非連結子会社を吸収合併したことにより、労務費と製造経費が増加した一方、それ以上に外注加工費が減少したため、売上原価が減少した。

売上高が6.5%増加した一方、売上原価が7.6%減少したことにより、売上総利益は1,257百万円と前年同期を19.7%上回った。また売上総利益率は57.8%と前年同期から6.4ポイント向上した。

販管費の推移

販管費と販管費比率の推移



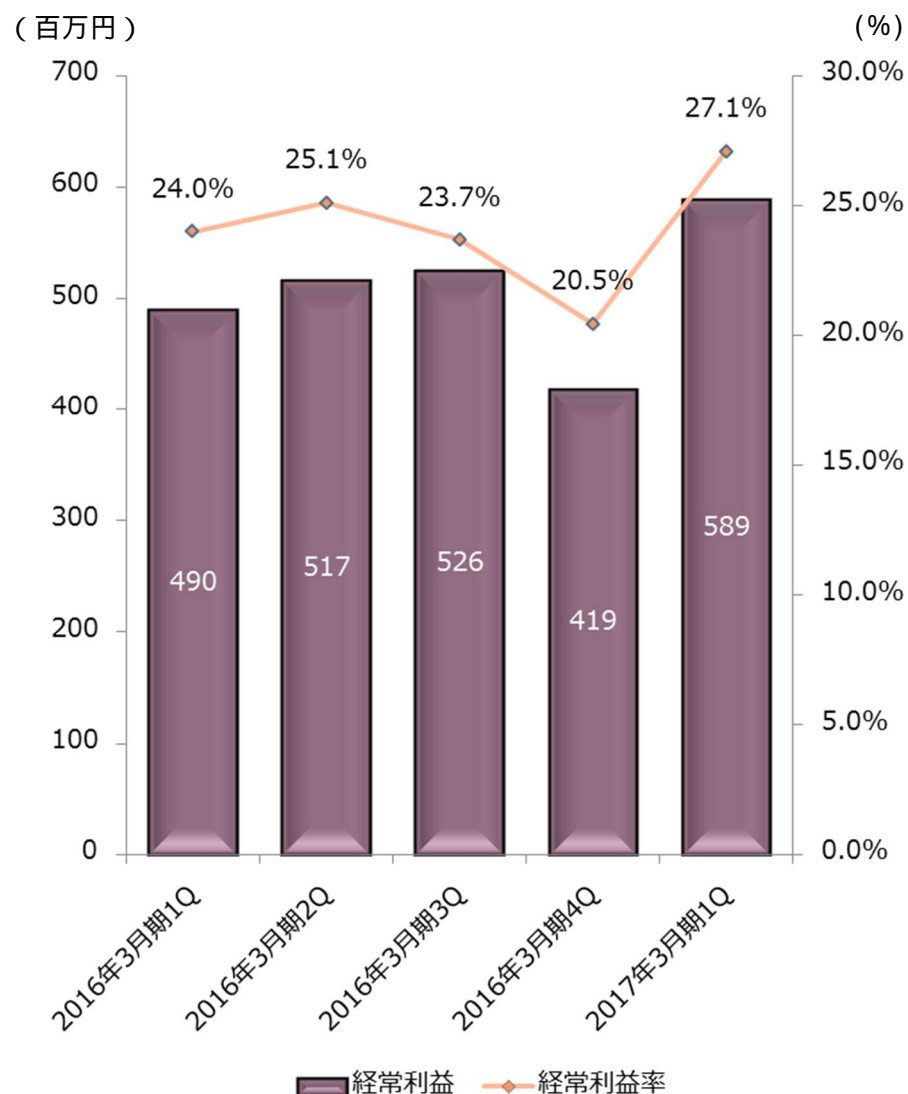
販売管理費では、営業人員の増強等により給与や法定福利費が増加したことから、人件費は前年同期比6.1%増加し358百万円。

また一般経費も、販売管理システムの減価償却費、新工場棟竣工記念関連の販売促進費、ブランディングに係る業務委託費等を要因として、前年同期比24.9%増加の314百万円。販売管理費全体では同14.2%増加の672百万円。

このため、売上高販管費比率は30.9%と、前四半期に続き30%を超える水準となった。

経常利益の推移

経常利益と売上高経常利益率の推移



販売管理費が前年同期比で14.2%増えてしまったが、売上増加・売上原価減少により、営業利益は同26.9%増加の585百万円。

営業外収益は、子会社同士の合併により非連結子会社からの配当が控除となったことや為替差益等から、前年同期に比べ23百万円減少したが、営業利益の増加により経常利益は前年同期比20.2%増加の589百万円。

この結果、連結での売上高経常利益率は27.1%となった。

業績予想見通し

(百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比	コメント
売上高	8,382	8,480	+1.2%	FCVや自動運転等の進展により車関係の需要は期待できる一方、円高の影響等から全般的には伸び悩むと想定。
営業利益	1,914	1,940	+1.3%	売上高に連動して若干の増加を想定。
経常利益	1,954	1,980	+1.3%	同上
当期純利益	1,342	1,350	+0.5%	同上
設備投資額	1,295	706	-45.5%	前期は新工場棟建設で増えたが、今期は通常の設備投資のペースに戻る。
減価償却費	505	635	+25.9%	前期の新工場棟建設や設備投資強化の影響が今期より本格化する。
EPS	214.76円	215.93円	+0.5%	当期純利益に同じ。
1株当り配当金	50円	60円	+20.0%	利益は横ばいを見込むものの、大規模な投資を予定していないため増配を予定。

第1四半期における進捗状況

(百万円)

	2017年3月期 1Q累計	上期予想	進捗率	通期予想	進捗率
売上高	2,175 (+6.5%)	4,320 (+5.3%)	50.4%	8,480 (+1.2%)	25.7%
営業利益	585 (+26.9%)	1,050 (+7.7%)	55.7%	1,940 (+1.3%)	30.2%
経常利益	589 (+20.2%)	1,070 (+6.2%)	55.1%	1,980 (+1.3%)	29.8%
四半期純利益	376 (+19.3%)	730 (+8.9%)	51.6%	1,350 (+0.5%)	27.9%

()内は前年同期比増減率

2017年3月期の重点戦略

ポイント

人材

品質

- ✓ 優秀な人材の育成
- ✓ NS品質の維持向上

人材 精密・微細加工に
特化した専門家集団

品質 精度と安定性への
飽くなき取り組み

連結売上高84億円の達成
と
経常利益率20%の確保

生産

自動化の推進
製造技術向上による
更なる高精度化の実現

販売

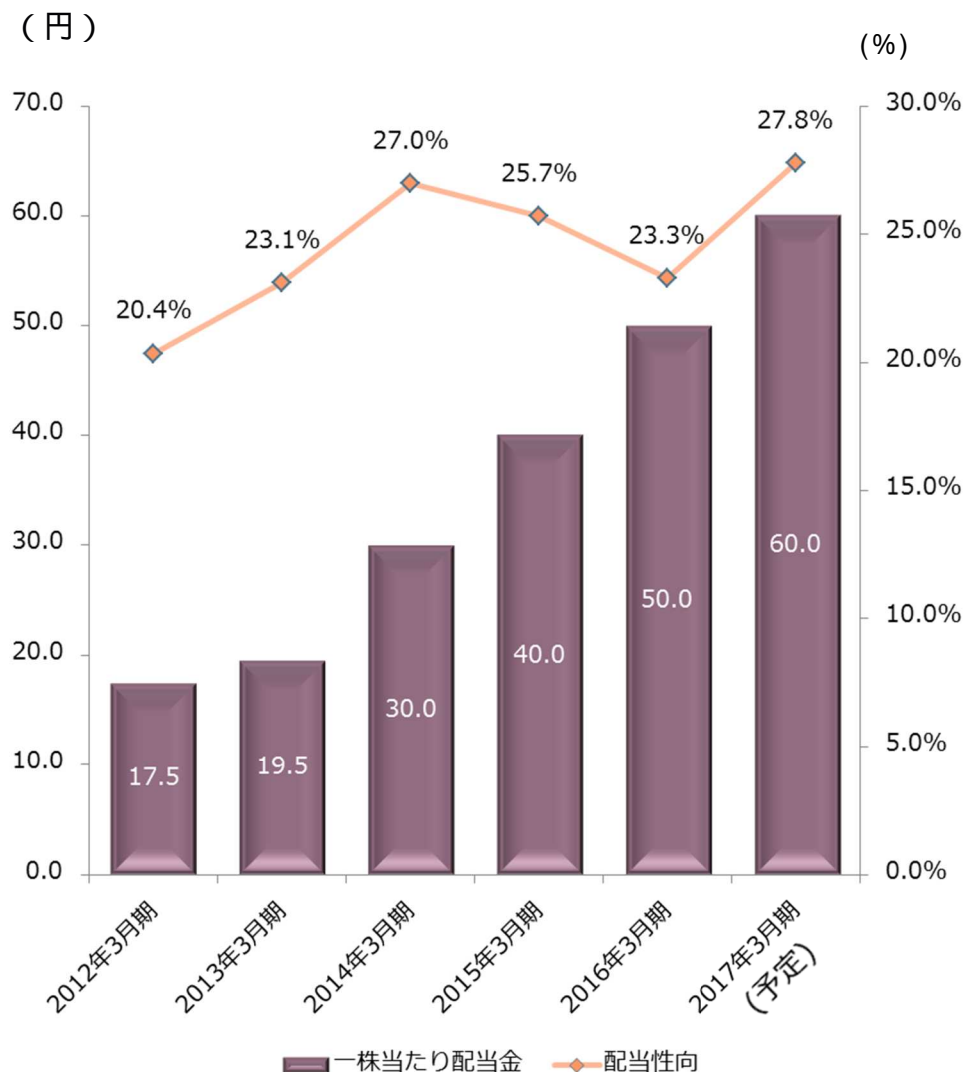
新規ユーザーの開拓
既存ユーザーの深耕
海外市場の拡大

開発

画期的な高付加価値製品の
開発

持続的成長の実現

配当予想（株主還元について）



2014年10月1日付実施の株式分割の影響を考慮しています

業績に応じた利益還元
(配当性向20%を目処)

2016年3月期の配当金は10円増配となる
1株当たり50円。

2017年3月期も10円の増配とし1株当たり
60円を予定。

(業績予想に対する配当性向は27.8%)

自社株買いではなく
配当にウェイトを置く方針

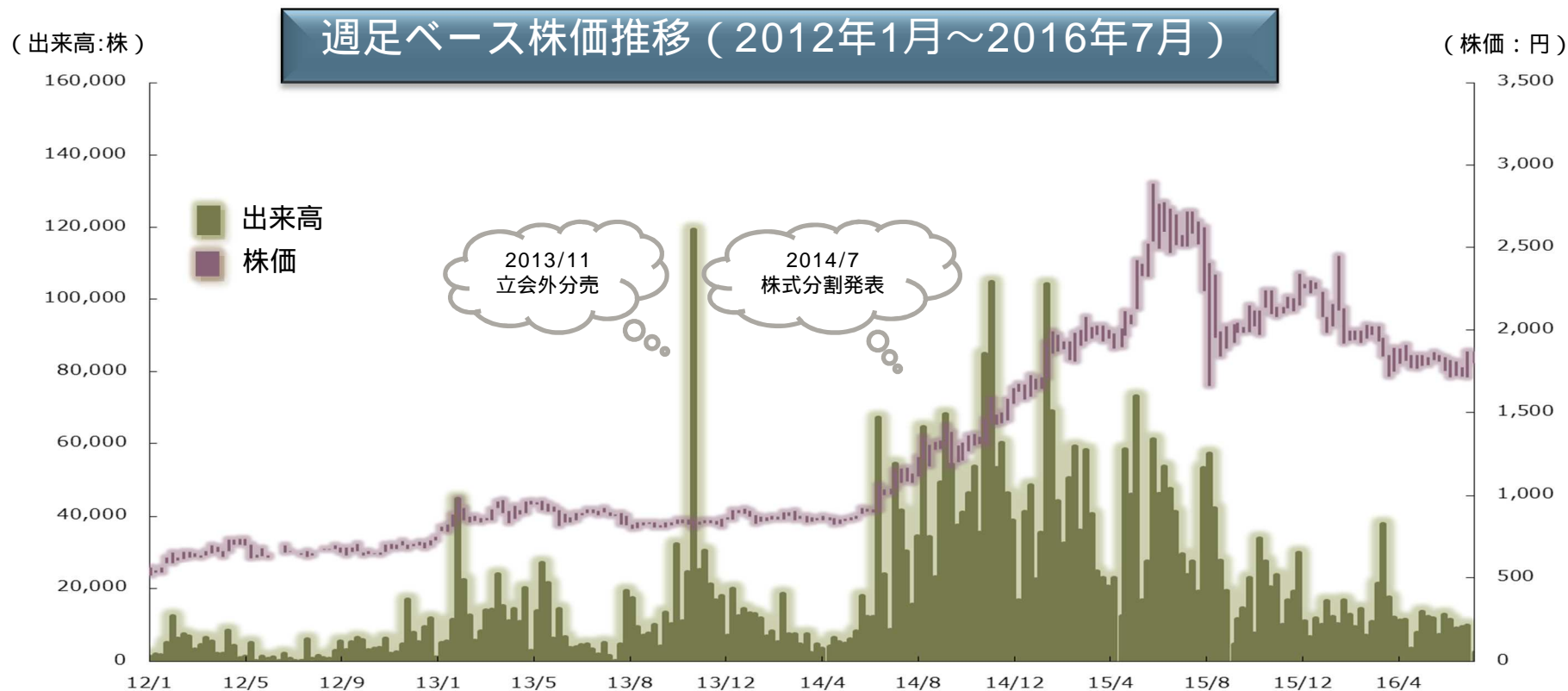
過去5年間の業績と主要データ推移

(百万円)

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	5,781	5,997	6,418	7,402	8,382
営業利益(率)	962 (16.7%)	921 (15.4%)	1,069 (16.7%)	1,481 (20.0%)	1,914 (22.8%)
経常利益(率)	1,032 (17.9%)	951 (15.9%)	1,107 (17.2%)	1,534 (20.7%)	1,954 (23.3%)
当期純利益(率)	535 (9.3%)	527 (8.8%)	694 (10.8%)	973 (13.1%)	1,342 (16.0%)
有利子負債額	0	0	0	0	0
純資産額	6,678	7,106	7,680	8,480	9,569
総資産額	7,906	8,297	9,075	10,339	11,371
自己資本比率	84.5%	85.6%	84.6%	82.0%	84.2%
設備投資額	1,051	1,001	469	612	1,295
減価償却費	471	563	534	474	505
1株当たり配当金	17.5円	19.5円	30円	40円	50円
従業員数	232人	281人	284人	281人	280人

2014年10月1日付実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション



バリュエーション (2016年7月26日現在)

売買単位：100株

単元株価格：17万8,800円

時価総額：111億円

P E R (17/3期予想)：8.28倍

R O E (16/3期実績)：14.8%

P B R (16/3期実績)：1.17倍

IR情報サイトのご案内



メニュー表示

「トップメッセージ」、「よくあるご質問」、「IRお問い合わせ先」メニュー名クリックで各ページに移動します
それ以外はメニューにカーソルを合わせると各メニューの詳細ページ項目が表示されます
(項目クリックで該当ページに移動できます)

投資家の皆様へ

投資家の皆様に特にご覧頂きたいページをピックアップしています

IRニュース

適時開示情報や説明会のお知らせ、レポート更新など最新のIR情報を掲載しています
「IRニュース一覧へ」をクリックすると、表示されていない過去のIRニュースをご覧いただけます

メニュー項目

ワンクリックで各メニューの詳細ページに移動できます

URL : <http://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員管理部長	田島 寛
管理部経理課課長	今関 弘毅
管理部 I R 担当	松尾 友紀子

TEL : 03-3763-5672
FAX : 03-3764-8225
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。